

東区まちづくり推進事業の検証結果について

(平成29年度 第2回東区まちづくり懇話会)

開催概要

開催日時：平成29年9月15（金） 午前9時30分

場 所：東区役所3階 すこやかホール



【評価項目の定義】

① 継 続	<ul style="list-style-type: none">・ 来年度も同一内容で事業を実施又は必要に応じて改善していく。・ 来年度も事業費は現状維持又は削減に努める。
② 拡大・拡充	下記のいずれかに該当する場合。 <ul style="list-style-type: none">・ 来年度は、事業内容を更に充実させる。・ 来年度は、事業規模を更に拡大させる。・ 来年度の事業費は、必要に応じて増額させる。
③ 見 直 し	事業内容を根本から再検討する。
④ 縮 小	来年度は、計画の見直しや手法の改善等によって事業の縮小や経費の削減を図り、縮小したものについては、他事業への統合や廃止を検討していく。
⑤ 廃 止	下記のいずれかに該当する場合。 <ul style="list-style-type: none">・ 来年度は事業を一旦中断して、今後の方向性を検討する。・ 事業の見直し等により、来年度から他事業へ統合する。・ 事業の目的を達成したため、来年度から事業を終了する。



① 東区民まつり開催経費

○ 事業内容

区民まつりを開催し、区内各種団体が参加・協力して区民相互の交流と親睦を深め、区の一体感の醸成を図る。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・ 広報がもっと必要、祭りの告知をもっとしっかりやってほしい。
- ・ 交通手段や駐車場の問題を解決すべき。
- ・ 事業内容の検証をしながら継続してほしい。

【講評（全体のまとめ）】

- ・ 他の祭りを参考にしながら事業内容を検証してみてはどうか。
- ・ 祭りの告知をきちんと行うべきでは。

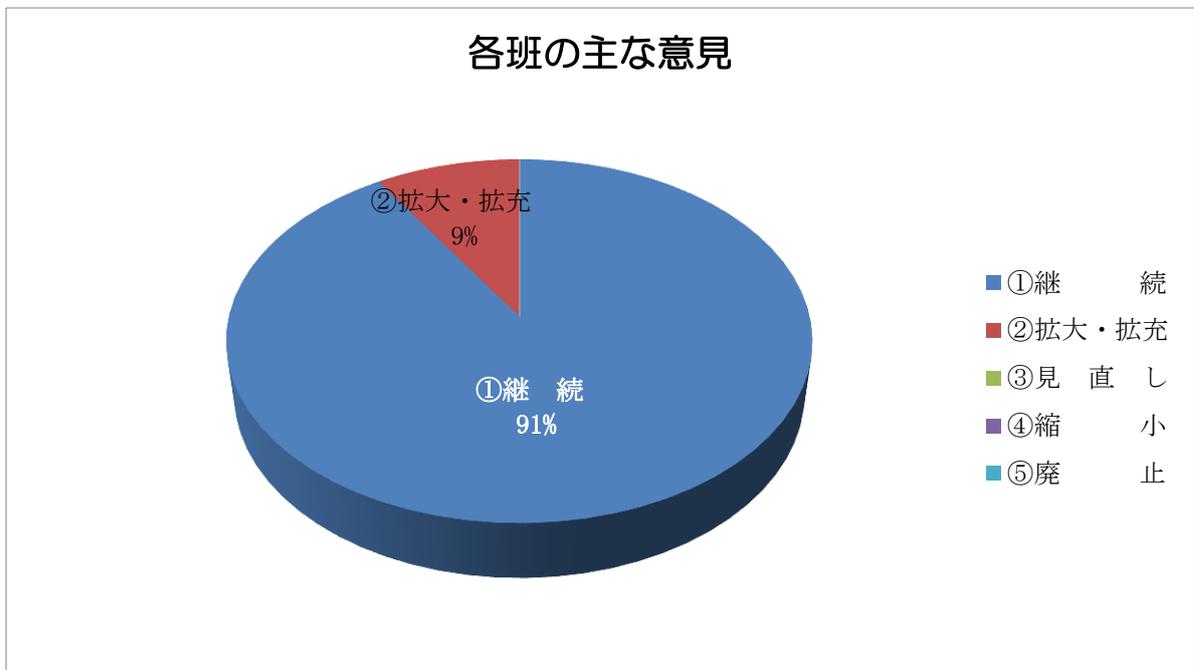
② 地域情報受発信充実事業

○ 事業内容

広報誌やホームページ、フェイスブックなどを活用して区や地域の情報を提供する。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続 ② 拡大・拡充	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・ 市政だより（東区ページ）の内容をもっと充実させるべき。
- ・ 掲載の内容を工夫すべき。

【講評（全体のまとめ）】

- ・ 掲載の内容を工夫するべきでは。
- ・ 各世代に応じた内容を掲載するべきでは。
- ・ SNS等の活用も検討するべきでは。

③ 東区民文化スポーツ交流事業

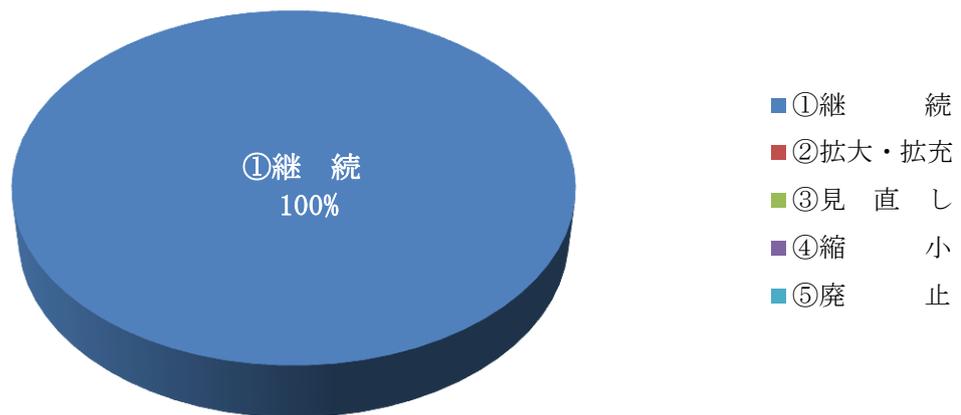
○ 事業内容

区内小学校交流サッカー大会と校区体育協会と共催のミニバレーボール大会を開催するとともに、地域で主催するスポーツや文化交流の催しに対して区長賞を提供する。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続	① 継 続

各班の主な意見



【各班の主な意見】

- ・健康づくりにも役立つため、グランドゴルフも追加してほしい。
- ・コミュニティの視点から様々な世代の方が参加できるスポーツにするべき。

【講評（全体のまとめ）】

- ・高齢者などみんなが参加できるようなスポーツも実施してみてもどうか。
- ・競技種目を見直してはどうか。

④ 地域コミュニティづくり支援補助金

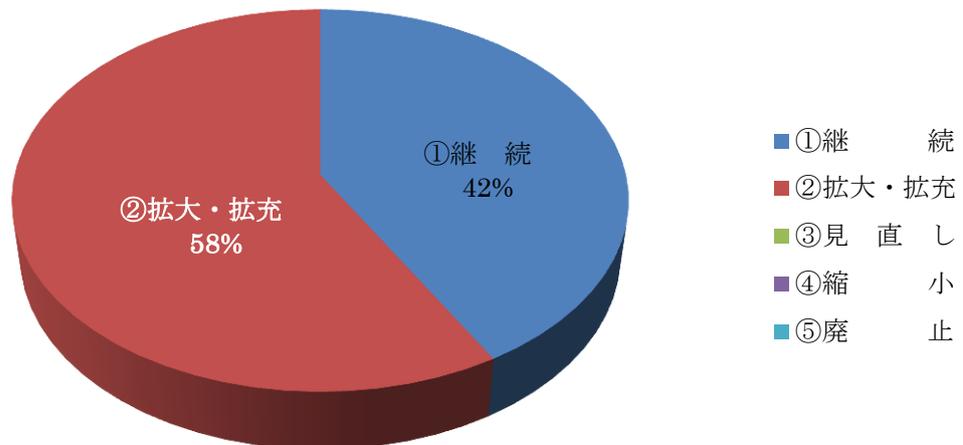
○ 事業内容

校区自治協議会、町内自治会等が主体的かつ継続的に行う環境・子育て・防犯防災など地域の身近な課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた取組に対し、補助金を交付する。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続 ② 拡大・拡充	② 拡大・拡充

各班の主な意見



【各班の主な意見】

- ・活動が少ない地域への支援も必要。
- ・ニーズが高いので拡大・拡充してほしい。

【講評（全体のまとめ）】

- ・本制度を更に活用していくためにも、制度の周知方法を工夫していく必要がある。

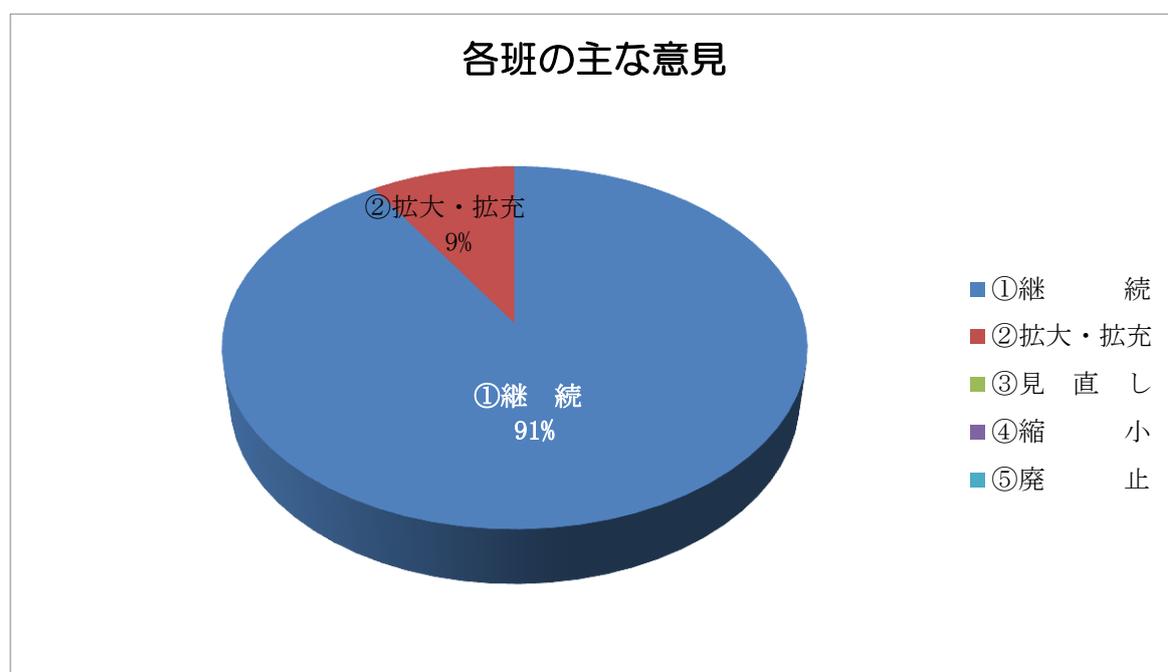
⑤ 地域合同訓練事業

○ 事業内容

地域が行う防災訓練に区役所も参加・支援し、地域防災意識の向上を図る。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続 ② 拡大・拡充	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・マニュアルが機能するように訓練を重ねていく必要がある。
- ・校区単位ではなく、マンションや戸建の分譲地など身近な単位での訓練が重要である。
- ・より多くの人に参加し、マンネリ化しないための工夫が必要。

【講評（全体のまとめ）】

- ・実態に即した訓練を実施してほしい。
- ・訓練を実施した校区が実施していない校区にノウハウ等をアドバイスしてほしい。

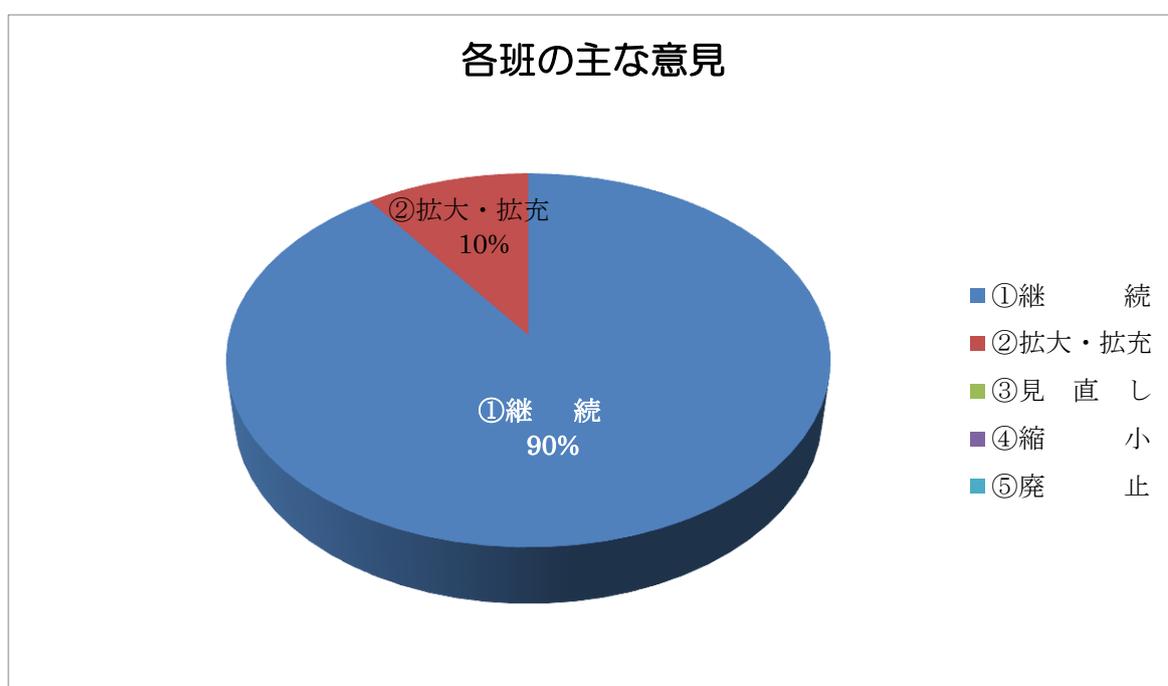
⑥ 安全安心のまちづくり事業

○ 事業内容

区民まつりや地域の行事などの際に防犯防止・交通安全グッズ等を配布することにより、安全安心なまちづくりの広報啓発を行う。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続 ② 拡大・拡充	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・ピブスをおしゃれにすれば若い世代の参加者も増えるのでは。
- ・防犯協会と様々な団体が連携することが大事。
- ・高齢者への啓発も必要。
- ・青パトのガソリン等の負担感が大きいので対策をお願いしたい。

【講評（全体のまとめ）】

- ・若い世代の参加を促すための工夫や高齢者への啓発が必要では。

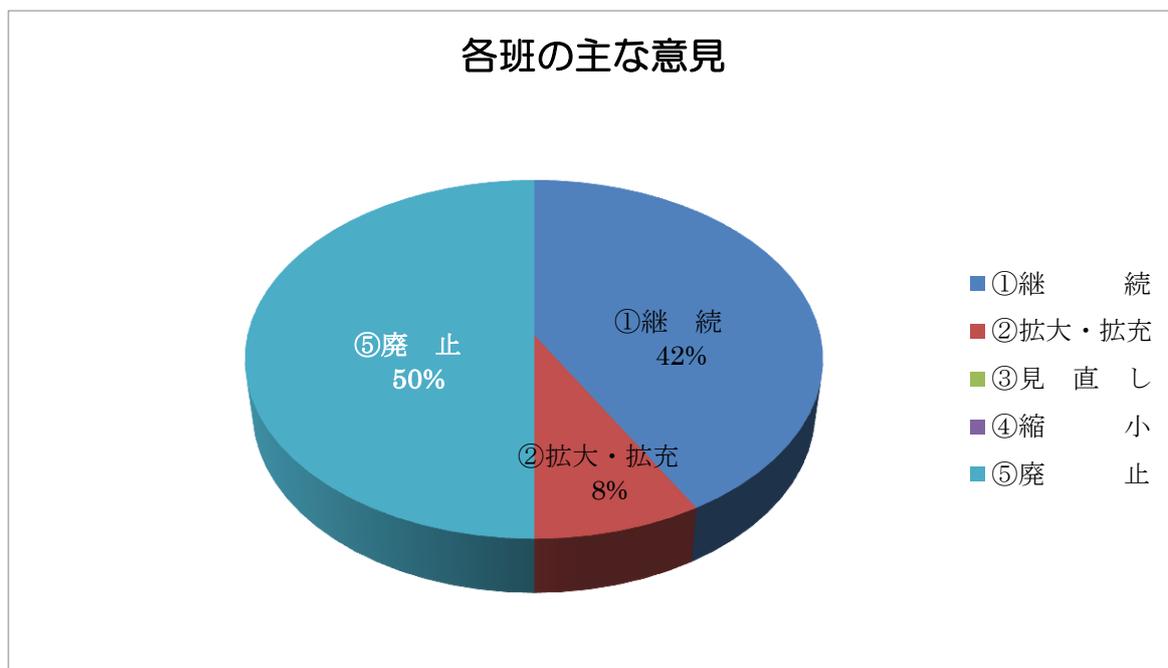
⑦ 子どもの遊びプランナー養成事業

○ 事業内容

子どもの遊び場づくりを通じて地域間交流を図り、住民主体の自主自立のまちづくりを支援していく。

○ 検証結果

	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
来年度の方向性	① 継 続 ② 拡大・拡充 ⑤ 廃 止	（廃止を含めた） ③ 見 直 し



【各班の主な意見】

- ・大型スーパーのイベントスペース等、様々な場所も検討すべき。
- ・自主自立のまちづくりを推進するため、地域コミュニティづくり支援補助金などの制度へ統廃合してもよいのでは。

【講評（全体のまとめ）】

- ・より地域の自主性を生かした活動ができるよう、他制度への移行を含めて見直してはどうか。

⑧ 地域課題検討会改善策実施経費

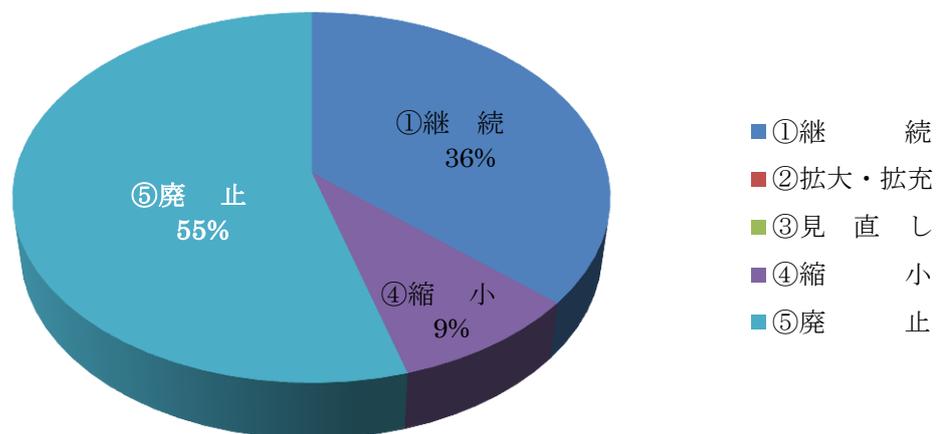
○ 事業内容

地域課題検討会において検討した課題の改善策に取り組む団体に支援を行う。

○ 検証結果

	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
来年度の方向性	① 継 続 ④ 縮 小 ⑤ 廃 止	④ 縮 小

各班の主な意見



【各班の主な意見】

- ・ 地域担当職員が成功事例を他町内へ広げていく試みが必要では。
- ・ それぞれ地域性があるため、モデル地区を作っても意味がないのでは。
- ・ 地域担当職員が自治会からの悩みを聞いて、課題に対してアドバイスをしてはどうか。

【講評（全体のまとめ）】

- ・ 他制度への移行を含めて、地域課題の収集の仕方や解決方法を見直してはどうか。

⑨ 子育て支援ネットワーク活性化事業

○ 事業内容

校区子育てマップや防災リーフレットの活用により、各校区ネットワークの活動活性化を図るとともに、東区全体のネットワーク活動活性化と東区の更なる子育て支援の充実に繋げる。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・親世代への教育も必要。
- ・啓発よりも実践的な支援活動に力を入れて欲しい。
- ・リーフレットの作成など東区は先進的な取り組みをしている。

【講評（全体のまとめ）】

- ・実践的な支援活動に力を入れてみてはどうか。

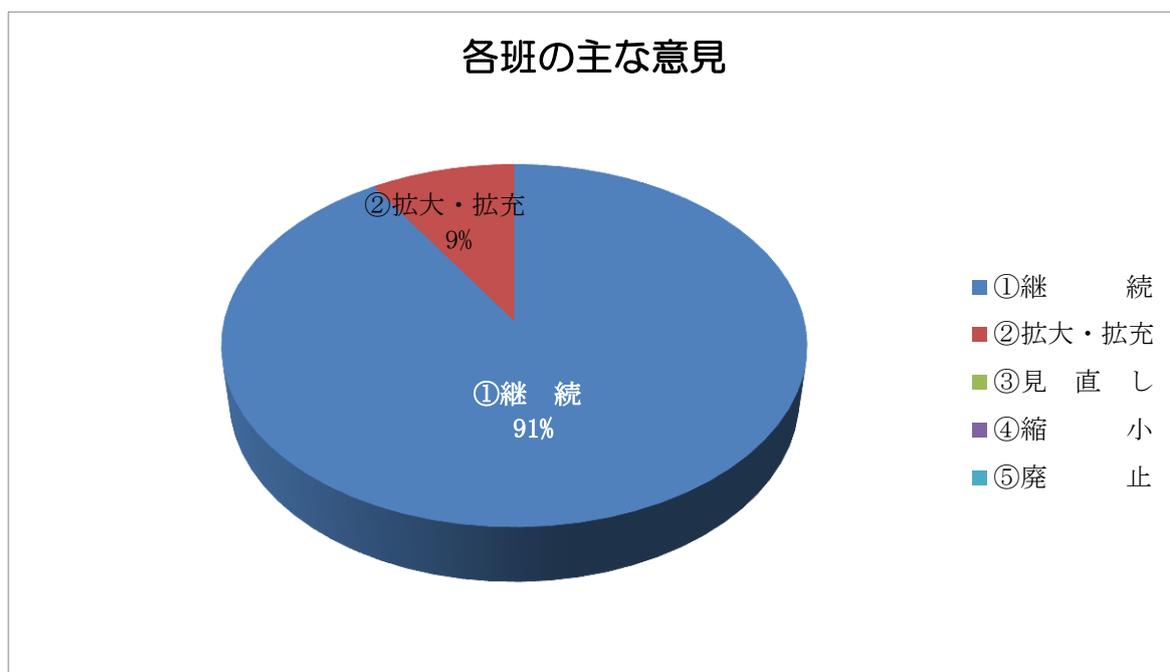
⑩ 東区健康まちづくり活性化経費

○ 事業内容

東区の健康なまちづくりを推進するため、健康まちづくり推進員を養成する。健康まちづくり推進員は、保健師とともに地域組織との協働による健康まちづくり活動の企画・運営を行い、校区単位の健康まちづくり事業の活性化を図る。

○ 検証結果

	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
来年度の方向性	① 継 続 ② 拡大・拡充	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・健康まちづくり推進員の養成だけではなく、推進員が活躍できる場をつくる必要がある。
- ・イベント情報をきちんと地域に周知する必要がある。
- ・高齢者サロンを全校区・全町内に広げていけたら良い。
- ・健康まちづくり推進員の活用の仕方が判らない。
- ・学校の空き教室を集いの場にしてはどうか。

【講評（全体のまとめ）】

- ・養成した健康まちづくり推進委員の活躍の場を提供するべきでは。

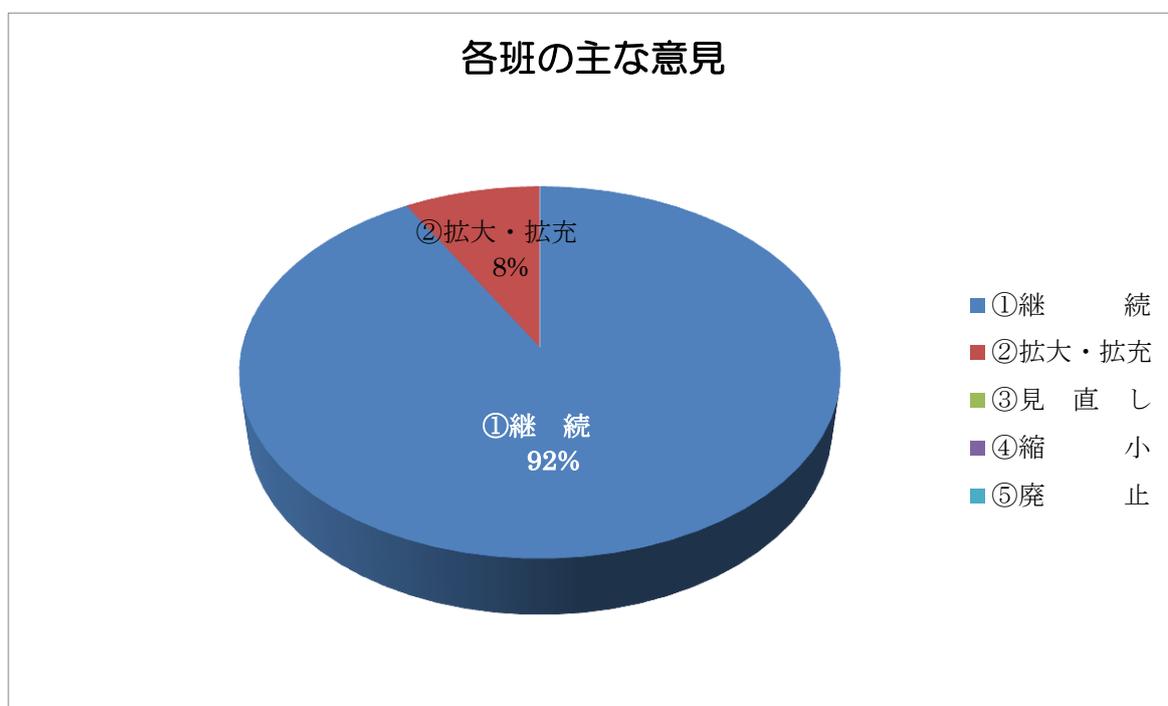
⑪ 熊本市子どもの食育推進ネットワークを活用した食育の推進

○ 事業内容

熊本地震の経験を活かし、非常災害時に必要な備えや情報をまとめ、共有していくことで災害に強い食育の地域づくりを推進する。

○ 検証結果

来年度の方向性	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
	① 継 続 ② 拡大・拡充	① 継 続



【各班の主な意見】

- ・ 専門性の高い大学と連携して進めてほしい。
- ・ 災害時の食のあり方は知っておくべき。
- ・ 「災害時」に限定するべきではない。
- ・ 食育は必要不可欠であるため、地道に活動していく必要がある。
- ・ 耕作放棄地を使用した食育などを行ってはどうか。

【講評（全体のまとめ）】

- ・ 専門性の高い大学と連携してはどうか。
- ・ 「災害」に限定するのではなく、食育自体の重要性を訴えていくべきでは。

⑫ 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり

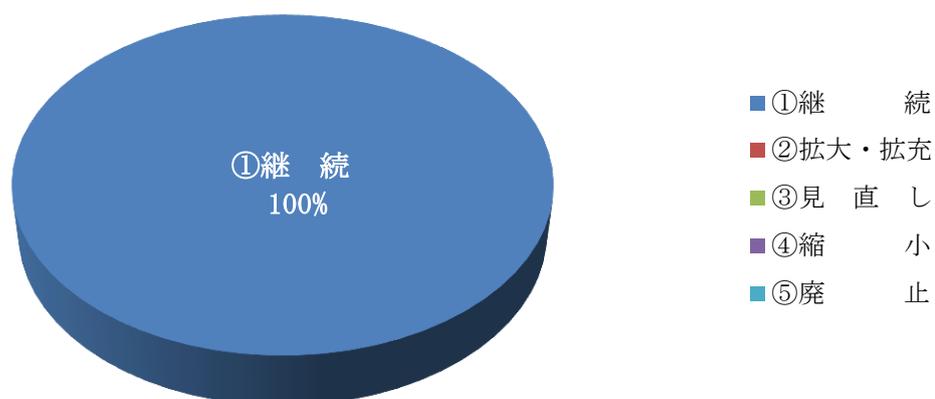
○ 事業内容

高齢者を地域全体で見守り支えあう意識を醸成し、高齢者が安心して暮らせる地域社会を目指す中、特に、増加する認知症の方への対応は喫緊の課題となっていることから、認知症の現状と対応を深く理解してもらうことを目的に研修会を開催する。また、模擬訓練実施校区に対しては、物品等の貸出等の支援を行う。

○ 検証結果

	各班の主な意見	講評（全体のまとめ）
来年度の方向性	① 継 続	① 継 続

各班の主な意見



【各班の主な意見】

- ・ 学校と連携して地域での認知症サポートを広げていきたい。
- ・ たくさんの校区で実施してほしい。
- ・ 家族や町内の理解を向上させるような事業展開を行うべきでは。

【講評（全体のまとめ）】

- ・ 上記の意見を参考にしながら事業内容を検討してはどうか。